

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A) 要覧

担当者名	趙星銀
演習テーマ	「歴史の書き方」の歴史
校外実習	1、実施しない
メール・アドレス	scho@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜 4 限
2021 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	ない。 ただし 2020 年度秋学期の演習 2B は Hope College への交換教授派遣のため 開講しない。
授業概要	歴史は書きかえられる。新しい史料が発見されたり、新しい解釈が有力となったりすることによって歴史学の形が変わることは当然ありうる。しかし特に近現代史の書き方は、時の政治状況や外交関係と密接に関わっている。本演習では、戦後日本の様々な政治的変動を検討しながら歴史と歴史認識の相互作用について考える。
学習目標	戦後日本の国内・国際政治史に関する知識を学習し、歴史と歴史認識をめぐる思考を深める。
授業計画	【第 1 回】 ガイダンス 【第 2・3 回】 戦後歴史学の潮流 【第 4~6 回】 アジア・太平洋戦争の時代 【第 7~9 回】 戦後社会論 【第 10・11 回】 戦後初期の国際政治と歴史認識 【第 12・13 回】 高度成長期とその後 【第 14 回】 沖縄と本土の溝 【第 15 回】 まとめ
予習	事前に次回のテキストを読んでコメントペーパーを作成する。
復習	各自の興味や疑問について参考文献を参照しながら整理しておく。
授業に関する 注意事項	-秋学期 (演習 2B) は開講しない。 -参加者は全員、1 回以上の口頭報告を行う義務がある。授業は参加者の報告とディスカッションを中心に、必要に応じて講義形式の説明を行う。
教科書	成田龍一『近現代日本史と歴史学』(中公新書、2012 年) 五百旗頭薫ほか編『戦後日本の歴史認識』(東京大学出版会、2017 年)
参考書	授業中に紹介する。
成績評価の 基準	口頭報告 50%+コメントペーパーと授業への参加度 50%
関連 URL	
備考	

